



## クロスバイク PALETTE / ABSOLUTE S 車体点検実施のおねがい

2010年から2018年まで製造・販売しておりましたFUJI PALETTE / ABSOLUTE Sでフレームが破断する事例が複数報告されております。いずれのケースも詳細を検査したところ車体の不具合は確認されておらず、再度当該車体の強度試験をメーカー及び第三者機関で行い安全性は確認しておりますが、ユーザーの意識が届かないところで車体に大きな負担がかかって破断に繋がっていることが考えられるため、今後の継続使用にあたりお客様の安全を第一に考えて、現在ご使用いただいている車体の点検実施をお願いいたします。



参考画像：PALETTE

### 実施概要

**対象モデル：** FUJI PALETTE (2013～2018年モデルの全年式)、  
FUJI ABSOLUTE S (2010～2012年モデル)

**点検実施店舗：** 車体購入店舗もしくは全国のFUJI取扱店

**点検内容：** 車体の目視・動作確認、使用環境についてヒアリング

**お持ちいただく物：** 車体、保証書

**点検費用：** 点検費用は無料です  
(今回実施する点検内容以外の修理やメンテナンス、部品交換等については費用が掛かる場合がございます。別途点検を受けられる際にご相談ください。)

**点検の流れ：** 販売店への持ち込み日について、事前に日時をご連絡いただいた上で販売店へご来店いただき点検実施をお願いいたします。  
店舗状況により異なりますが、点検作業自体の所要時間は約20～30分となります。  
点検結果については販売店の点検実施担当者よりご確認をお願いいたします。

### ⚠ 点検の重要性に関して

#### ■フレームの材質について

FUJI PALETTEのフレーム素材はスポーツバイクに多く使用されているアルミ製で、鉄素材より軽量で強度は高いものの金属疲労が蓄積することで破損が生じる可能性が高くなります。日頃から丁寧な走行を心がけていたとしても、使用年数や総走行距離、保管場所などの環境によってはダメージの蓄積度合いは高くなります。

#### ■耐用年数について

自転車は購入時から同じ状態で乗り続けられる物ではありません。乗車頻度や経年により、フレーム・フォークのほか各パーツも劣化や消耗をしていきます。しかしながら、日頃のケアをしっかりとこない、定期的に自転車店で点検を受けていけば長くお使いいただくことができます。使用頻度や保管状況によって変わるものの、概ね購入から5年ほどで劣化が見られるようになり、10年経過となると破損の危険性は高くなります。この度点検対象となるPALETTEは発売から5年以上経過しており、古いもので10年以上乗られている方もいらっしゃることから、点検実施の重要性は一層高くなるとご理解賜りますようお願いいたします。

## ⚠️ 車体に大きな負担がかかる使用例

FUJI PALETTE のフレーム素材はスポーツバイクに多く使用されているアルミ製で、鉄素材より強度は高いものの金属疲労が蓄積することで破損が生じる可能性が高くなります。日頃の走行の仕方や取り扱い方によって、車体に蓄積されるダメージの度合いや耐用年数は著しく変化します。

### ■ウィリーや高所からのジャンプなどのアクロバット走行

着地時の衝撃は実際の車体や乗車者の重量の何倍もの負荷がフレームやパーツにかかっていますので、高頻度でおこなうことの破損の危険性は著しく高まります。



### ■高速での歩道・車道の乗り降り

スポーツバイクはシティサイクルや電動アシスト車などの一般車に比べてスピードが出る乗り物で、急ブレーキや歩道と車道の間の数センチの段差を乗り越える際に車体に大きな負担がかかり、頻繁におこなうことで車体のダメージが蓄積されていきます。



### ■衝突事故や転倒

ユーザーに主だった負傷がないケースでも、車体が深刻なダメージを負っていることがほとんどです。特にパーツ交換を余儀なくされた事例がある場合はかなり危険な状態にあると考えられますので、即時点検が必要となります。



### ■バイクの貸し借り、中古車購入

家族や友人への貸し借りや中古車の使用などは、ユーザーが知らないところで車体に大きなダメージが加わっている可能性があり、通常使用よりも破損の危険性が高まります。



### ■屋根や庇(ひさし)のない屋外での長期保管

屋外での保管によって日常的に雨や直射日光にさらされることによる車体の劣化は、ユーザーの見えないところで進行することがあります。特に鉄やゴム、プラスチック素材を多用するパーツ類の劣化は正常な動作を妨げ、重大事故を引き起こす原因にもなりますので、可能な限り屋内での保管もしくは自転車カバーを利用しましょう。



車体に大きなダメージが加わる危険な乗り方のためおこなってはいけない項目



潜在的にダメージが蓄積されて破損のリスクが高いと思われる項目

ご不明な点がございましたらお手数ですが下記宛までご連絡お願いいたします。

FUJI 製品日本総代理店 株式会社アキボウ 品質管理グループ

メールアドレス  
専用フリーダイヤル

hinkan@akibo.co.jp

0120-557-144

受付時間 10:00 ~ 12:00 , 13:00 ~ 17:00

(土・日・祝祭日を除く)